

柳田法相が辞任

国会軽視発言で引責 後任は官房長官が兼務

柳田稔法相(五六)は二十二日午前、国会軽視発言の責任を取って、菅直人首相に辞任の意向を伝えた。同日夕に自民党が参院に提出予定の問責決議案が野党の賛成多数で可決される見通しの中、二〇一〇年度補正予算案の審議への影響を避けたいと判断したとみられる。

九月に発足した菅改造内閣で初の閣僚辞任。後任については、当面仙谷由人官房長官が兼務する方針。

野党側は首相の任命責任を追及する構えで、内閣支持率が急落する菅政権にとって深刻な打撃となるのは避けられない。



菅首相との会談を終え、官邸を出る柳田法相—22日午前8時25分

柳田氏は十四日、広島市内での会合で、国会答弁について「法相は『個別の事案については答えを差し控える』と『法と証拠に基づいて適切にやっている』の二つを覚えておけばいい」などと発言した。